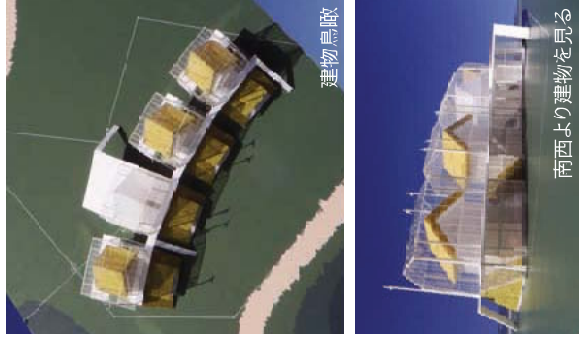


ナチュール ロハス雑誌『nature vol.2』に (仮称)「海と風の丘ミレニアムシティ」が巻頭特集されました!

海と風の丘ミレニアムシティ
NPO法人ミレニアムシティ
日本人の心の故郷
モンゴル
NPO法人モンゴル
全ては自然にうまくいく
気功的人間になりませんか
モルドババイレンプロジェクト2007
NPO法人バイレンプロジェクト
マダム・バグワライ・インナー・サン・ヨナル
NPO法人バグワライ・インナー・サン・ヨナル
スロベニア共和国 / エスロベニアを旅して
スロベニア共和国 / エスロベニアを旅して
602人の仲間と一緒に

さらに「海と風の丘ミレニアムシティ第一期」は、建築においても特徴的です。ハコイリミンカとして温室の中に茅葺の古民家を移築する予定。どちらもエネルギーサイクルが可能な部材を用いています。日本の風土に適した材料・建設・維持まで考えてつくられた茅葺民家とは合理的な建築様式です。しかし、近代化の中で衰退の途を辿って絶滅の危機にある様式と言えます。このすばらしい茅葺を移築再生し、風雨から守る意味でもガラスで囲い、パッシブソーラーハウスの機能も持たせるといった画期的なものです。また、生ゴミの堆肥化による有機農業・風力発電・太陽光利用システムを用いるなど、エネルギーと食料の半自給自足を目標としています。これは、同時に災害に弱く食料自給率の極端に低い現在の日本の過密都市に対して、防災視点のモデル的意味をも担っているわけです。
(『nature 2号より抜粋)

太陽の光・海からの風
自然・風土・文化の恵みを
存分に享受する空間
ハコイリミンカという
住まい方



都会を離れ、自然の中で有機農業体験を満喫する。今では貴重な「コミュニティ」と共に環境共生を目指した居住スペースも手に入れる。そんな新たなライフスタイルを提唱した本格的エコビレッジが始動します。
「海と風の丘ミレニアムシティ第一期」では、現在、共にこの計画をつくり上げていく参加者を募集しています。「海と風の丘ミレニアムシティ第一期」は、簡易コーポラティブハウスの形態をとっています。それは計画の大枠の方針は定めながらも、詳細については各居住者のそれぞれのライフスタイルに合わせて決めていくことができるといっ仕組めです。プランに居住者の意思がある程度反映されるところがこれです。さらに、共用施設をシェアリングすることで、豊かな共用部分をもった建物等を比較的安価に利用できるのも大きなメリットです。
また、風力・太陽光など自然のエネルギーを有効に使い、環境に配慮したエコロジカルな建築を予定しています。



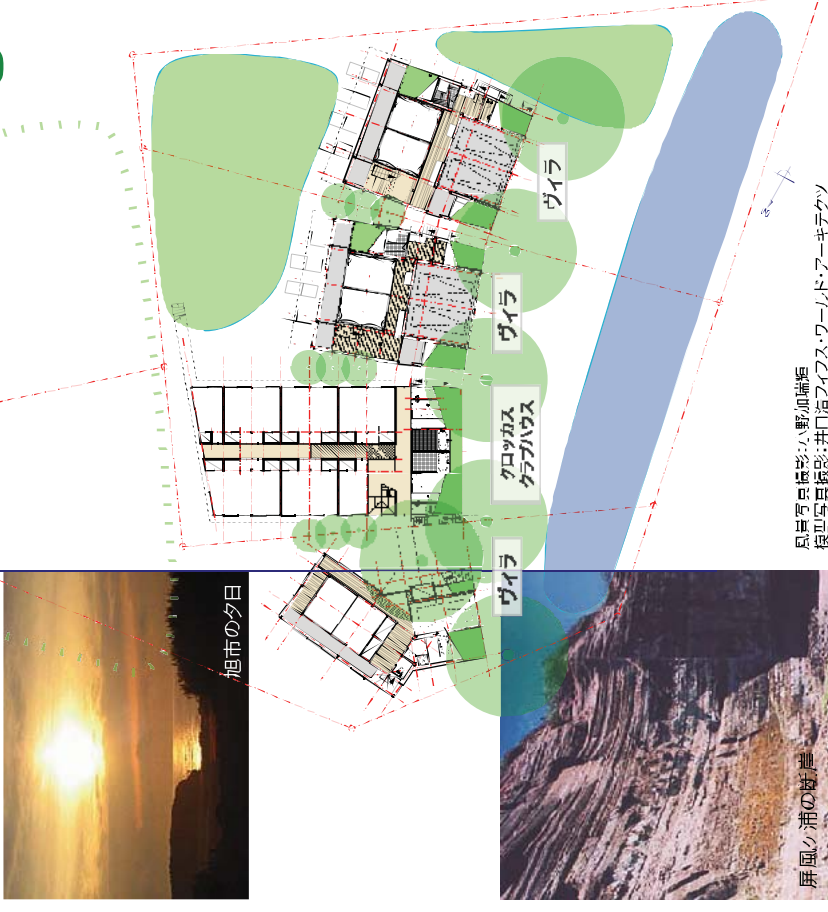
「海と風の丘ミレニアムシティ第一期」は、クロッカス(CROCUS※)という、居住とコミュニティを手軽に手に入れる画期的なシステムを備えています。
クロッカス・クラブは、クラブライフを楽しむ居住スペースを借りたい人向きのクラブハウスオーナーと、居住スペースを手に入れたい人向きのヴィラオーナーの大きく2つに分かれます。クラブハウスオーナーは、少ない初期費用と、日々の管理費等で手軽に利用したい人にお勧めです。ヴィラオーナーは、ある程度の初期投資＋αで、現在では希少で本格的な茅葺き住宅に居住できる予定です。また、クラブハウスオーナー、ヴィラオーナー共に、くりもとミレニアムシティ第一期との相互利用(割引利用)ができる予定です。

※【CROCUS】
C: Community... 運命共同体
R: Ring... 輪、和
O: of
C: Connect... つながれた、関係
U: Universal... 普遍的な、共通の
S: Sustainability... 持続可能性

ネットワーク・エコビレッジ 第2弾 海と風の丘ミレニアムシティ第一期 参加者募集開始

これからのエコビレッジは
「おしゃべりに、絆に、遊び心をもって」がテーマ
海からの風を受けて丘からの眺めを満喫。
豊かなクラブライフを愉しむ(クロッカス・クラブライフ)

住む人の発想で市民が都市をまるごとつくる
環境まちづくりNPO法人ミレニアムシティによる
ネットワーク・エコビレッジ第2弾!



風景写真撮影: 加藤 雄
模型写真撮影: 井口 浩二

